



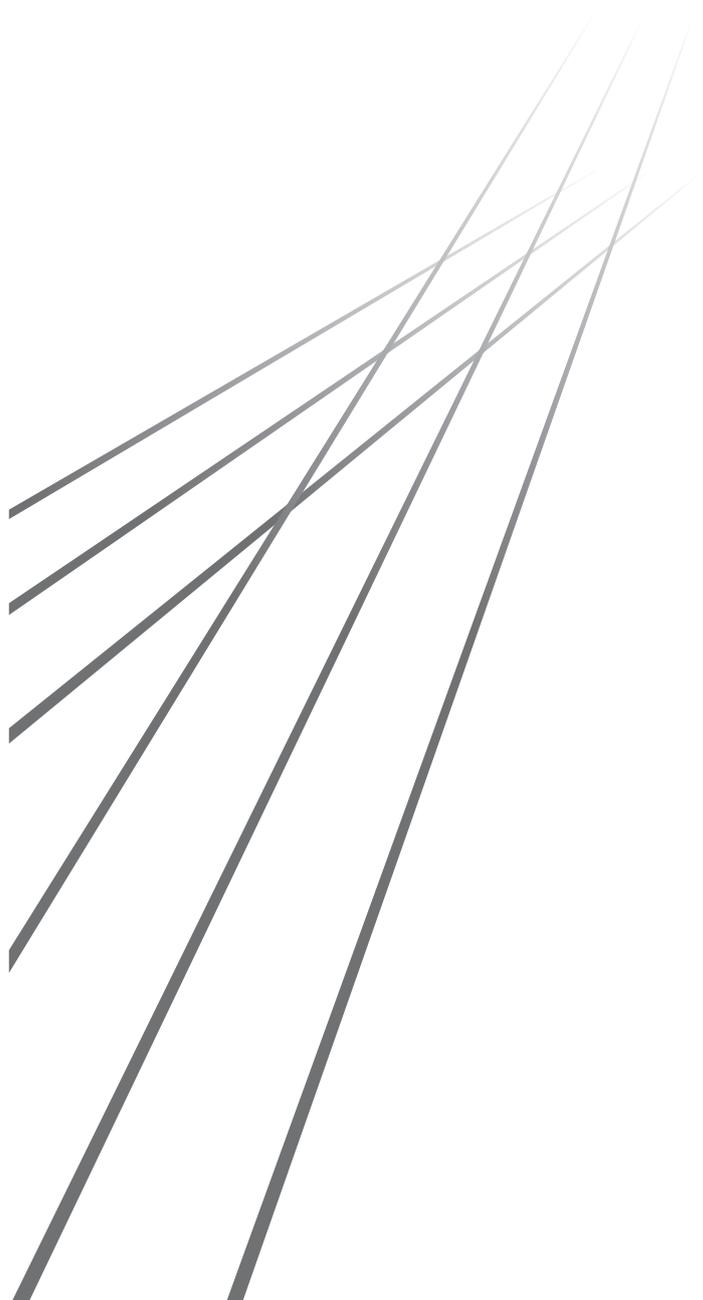
ソフトデジタイザ

取扱説明書

基本操作 **1**

いろいろな編集機能 **2**

付録 **3**



ごあいさつ

このたびは、ソフトデジタイザをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ソフトデジタイザ機能を利用すると、印刷機のスキャナーで読み取った原稿や、印刷機に保存されている原稿データに対し、タッチパネル上でさまざまな編集を加えることができます。
本書では、ソフトデジタイザの操作方法を説明しています。
ご使用になる前に、よくお読みください。
また、ご使用中に不明な点があるときや、必要なときにお読みいただき、未永くお役立てください。

■ 本書の記述内容について

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容につきましては、商品の改良などのため、将来予告なしに変更する場合があります。
- 本書および本機能を運用した結果の影響につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 商標について

①およびRISOは、理想科学工業株式会社の登録商標または商標です。

取扱説明書について

マークについて



気を付けていただきたいことなどの重要事項です。よく読んで、指示に従ってください。



知っておくと便利なことや、補足説明です。



参照ページを示しています。

画面、イラストについて

本書に掲載している画面やイラストは、機種やオプションの装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

目次

ごあいさつ	1
取扱説明書について	2
マークについて	2
画面、イラストについて	2
目次	3
タッチパネルの表示について	5
編集画面	5
プレビュー画面	6

第 1 章 基本操作

操作の流れ	8
① 原稿を選択する	9
紙原稿をスキャンして使う	9
原稿データ呼び出して使う	11
編集途中の原稿呼び出して使う	12
② エリアを作成して編集する	12
エリアの作成	13
エリアの編集	13
③ プリントイメージを確認する	14
④ プリントする	16

第 2 章 いろいろな編集機能

編集機能について	18
エリア内の画像色を指定する	18
エリア内の画像処理方法を変更する	19
エリアに枠線を付ける	20
エリア内に網掛けする	21
エリア内の色を反転する	22
エリア内／外を消去する	23
エリアを移動する	24
エリアを取り消す	24
画像を合成する	25
[シール合成]	25
[背景合成]	27

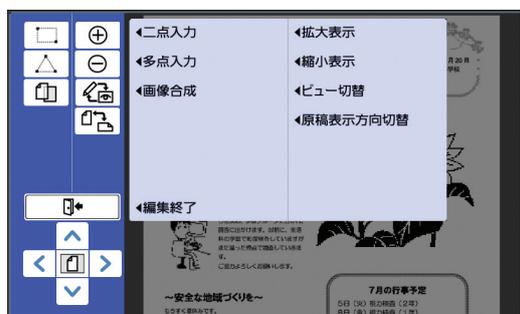
第3章 付録

利用環境を設定する.....	30
設定項目	30
[印刷色基本設定] の変更手順.....	30
ショートカットキー一覧.....	31
【枠線】と【網掛け】のサンプル.....	32
【枠線】	32
【網掛け】	32

タッチパネルの表示について

ソフトデジタイザの代表的な画面表示について説明します。

参考 ▶ **[*]** キーを押すと、ツールボタンの名称を確認できます。



編集画面

エリアを作成し、編集する画面です。
エリア (12) を選択していない時と選択している時で、表示されるボタンが異なります。

■ エリア未選択時



① 編集ツール

	[二点入力] (12)
	[多点入力] (12)
	[画像合成] (25)

② 操作補助ツール

	[拡大表示] このボタンにタッチするたびに、拡大表示されます。
	[縮小表示] このボタンにタッチするたびに、縮小表示されます。

	[ビュー切替] (14)
	[原稿表示方向切替] このボタンにタッチするたびに、原稿の表示方向が切り替わります。

③ 【編集終了】

[デジタイザ] での編集を終了します。

(16 「4 プリントする」)

④ [<<] [^] [v] [>>]

画像の表示位置を、上下左右に移動できます。

参考 ▶ 表示画像に直接タッチすることにより、タッチした位置が画面の中央になるように移動することもできます。

⑤ 【全体表示】

このボタンにタッチするたびに、全体表示と拡大表示が切り替わります。

参考 ▶ 枚数カウンターで、現在の表示倍率を確認できます。



■ エリア選択時



① 編集ツール

	[画像色指定] (18)
	[画像処理/枠線/網掛け] (19)
	[画像色反転] (22)
	[消去] (23)
	[画像移動] (24)
	[エリア取消] (24)

② 【OK】

選択中のエリアの編集を確定します。

(12 「2 エリアを作成して編集する」)

プレビュー画面

プリントイメージを確認する画面です。

(図 14 「③ プリントイメージを確認する」)



① 編集ツール

	[印刷色設定] (図 14)
	[エリア枠表示] (図 15)
	版別プレビュー (図 14)

② 【編集画面に戻る】

編集画面に戻ります。

(図 14 「③ プリントイメージを確認する」)

③ 【表示色切替】

カラー（多色刷りした仕上がりイメージ）と、モノクロの表示を切り替えます。

(図 14 「③ プリントイメージを確認する」)



第 1 章

基本操作

操作の流れ

[デジタイザ] は、以下の流れで操作します。

1

原稿を選択する

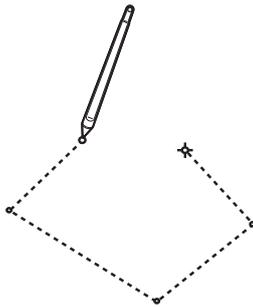
(📖 9)



2

エリアを作成して編集する

(📖 12)



3

プリントイメージを確認する

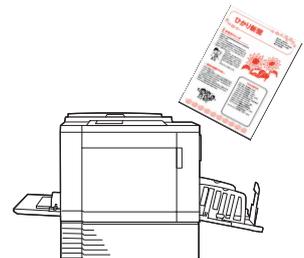
(📖 14)



4

プリントする

(📖 16)



重要

- ▶ 指で操作しにくい場合は、感圧式タッチパネル用のタッチペンを使用してください。ボールペンやシャープペンシルなどを使用すると、ディスプレイが傷ついたり汚れたりして、故障の原因となることがあります。

■ 他機能との関係について

重要

- ▶ [デジタイザ] の使用中は、[占有時間] を越えても、パソコンから受信した原稿データが自動的にプリントされることはありません。
- ▶ [デジタイザ] の使用中は、[オートクリア] [オートスリープ] [オートシャット OFF] は実行されません。
- ▶ [デジタイザ] を使用すると、それ以前に設定されていた以下の機能は無効になります。

- [原稿モード]
- [読取濃度]
- [変倍]
- [網点]
- [コントラスト強調]
- [トーンカーブ選択]
- [連写]
- [かんたん連写]
- [ブックモード]
- [フルサイズ製版]
- [省インク]
- [プレビュー表示]
- [オーバーレイ]
- [プログラム]
- [速度優先製版]
- [面付け]
- [N アップ]
- [逆順印刷]
- [とじしろ]
- [分版]
- [おすすめプレビュー]
- [名入れ]

参考

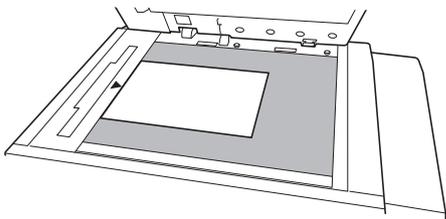
- ▶ 上記の各機能の説明については、お使いの印刷機の取扱説明書をご覧ください。

1 原稿を選択する

[デジタイザ] では、以下の3通りの原稿を使えます。

■ 紙原稿をスキャンして使う

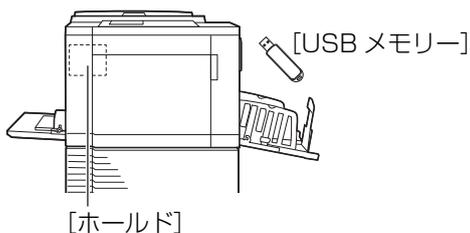
紙原稿を、本機のスキャナーで読み取って編集できます。



■ 原稿データを読み出して使う

[ホールド] または [USB メモリー] に保存されている原稿データを編集できます。

ただし、原稿データがすでに分版されている場合、編集できるのは1版分の原稿だけです。



重要

- ▶ [ホールド] を使うには、本機にメモリーカードが装着されている必要があります。メモリーカードの装着方法については、印刷機の取扱説明書をご覧ください。

■ 編集途中の原稿を読み出して使う

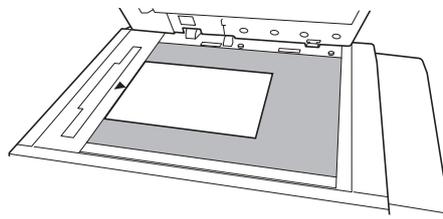
[デジタイザ] を終了した後も、編集途中の原稿データを読み出して再開できます。



紙原稿をスキャンして使う

1 原稿を原稿台ガラスに載せる

原稿の読み取り面を下向きにして、中央を [▶] マークに合わせます。

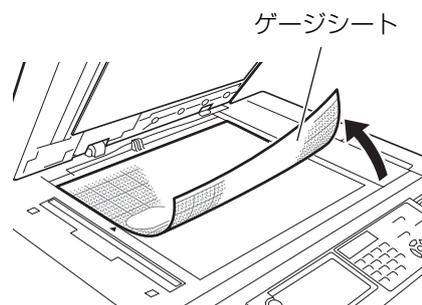


重要

- ▶ 原稿を、自動原稿送り装置 (オプション) にはセットしないでください。編集中に、原稿の再スキャンが必要になる場合があります。自動原稿送り装置を使うと、再スキャンするときに原稿の位置がずれてしまいます。

参考

- ▶ ゲージシートが装着されている場合は、ゲージシートの下に原稿をセットします。ゲージシートは右下からめくれます。



2 原稿台カバーを閉じる

重要

- ▶ [デジタイザ] を終了するまでは、原稿台カバーを開けないでください。再スキャンするときに原稿の位置がずれてしまいます。

3 製版基本画面または印刷基本画面が表示されていることを確認する



4 [機能一覧] タブ画面で [デジタイザ] をタッチする

5 [紙原稿を新規スキャン] をタッチする



6 [確定] をタッチする

7 読取条件を設定する



■ [読取濃度]

製版基本画面で設定する [読取濃度] と同じ機能です。詳しくは、ご使用の印刷機の取扱説明書をご覧ください。

■ [変倍]

製版基本画面で設定する [変倍] と同じ機能です。詳しくは、ご使用の印刷機の取扱説明書をご覧ください。

■ [サイズ]

原稿サイズを指定します。



▶ 初期設定では [オート] に設定されています。原稿サイズが検知されない場合は、[サイズ] 画面で指定してください。

8 [実行] をタッチする

原稿の読み取りが開始されます。

読み取りが終わると、[デジタイザ] の編集画面が表示されます。

続いて、編集するエリアを指定します。

「② エリアを作成して編集する」(12) に進んでください。

原稿データを読み出して使う

1 製版基本画面または印刷基本画面の
【機能一覧】 タブ画面で 【デジタイザ】
をタッチする

2 【ホールドデータを呼出】 をタッチする



重要 ▶ 本機にメモリーカードが装着されている必要があります。メモリーカードの装着方法については、印刷機の取扱説明書をご覧ください。

3 【確定】 をタッチする

4 呼び出す原稿データの場所を選択する

■ 【ホールド】 から呼び出す場合

画面の左上に 【ホールドデータ選択】 と表示されていることを確認します。



■ 【USB メモリー】 から呼び出す場合

原稿データが保存されている USB メモリーを、USB スロットに挿入します。【ホールドデータ選択】 画面の右下の 【USB メモリー】 をタッチすると、【USB データ選択】 画面に切り替わります。

5 呼び出したい原稿データをタッチする



- 別のフォルダーに保存されている原稿データを選ぶ場合は、フォルダーのタブをタッチします。
- 原稿データが 6 件以上ある場合は、【↑】 【↓】 をタッチしてリストを切り替えます。

参考

- ▶ 【環境設定】 の 【認証設定】 で 【本体認証、認証プリント】 が設定されている場合、認証データを表示させるには、以下の手順を行います。
 - ① 【ホールドデータ選択】 または 【USB データ選択】 画面で 【表示設定】 をタッチする。
 - ② 【認証あり】 をタッチする
 - ③ 【確定】 をタッチする

6 【詳細表示】 をタッチする

【ホールドデータ呼出】 画面が表示されます。

7 呼び出す原稿データを確認する

ページが複数ある場合、呼び出せるのは 1 ページ分だけです。【↑】 【↓】 をタッチして、呼び出すページを選択します。



参考

- ▶ 原稿データが分版されているときは、画面右下に版 (①、②) のボタンが表示されます。呼び出せるのは、1 版分だけです。編集したい版のボタンを選択してください。

8 [呼出] をタッチする

原稿データが呼び出されて、[デジタイザ] の編集画面が表示されます。

続いて、編集するエリアを指定します。

「② エリアを作成して編集する」(12) に進んでください。

編集途中の原稿を呼び出して使う

1 製版基本画面または印刷基本画面の [機能一覧] タブ画面で [デジタイザ] をタッチする

2 [編集途中の原稿を再呼出] をタッチする



▶ 以下の操作をした後は、[編集途中の原稿を再呼出] は使用できません。

- 本機の電源を OFF にした後
- パソコンから原稿データを受信した後
- ログアウトした後
- 以下の機能を選んで製版した後
 - [ブックモード]
 - [N アップ]
 - [とじしろ]
 - [分版]
 - [おすすめプレビュー]
 - [リバース出力] (RLP モード)

3 [確定] をタッチする

編集途中の原稿データが呼び出されて、[デジタイザ] の編集画面が表示されます。

続いて、編集するエリアを指定します。

「② エリアを作成して編集する」(12) に進んでください。

② エリアを作成して編集する

編集するエリア (範囲) を作成します。

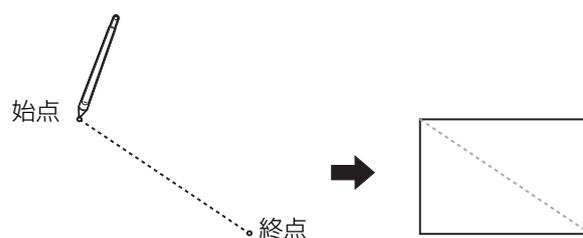
エリアの作成には、以下の 2 種類の方法があります。



▶ [二点入力]、[多点入力] によるエリアは、それぞれ 50 個まで作成できます。

■ 二点入力

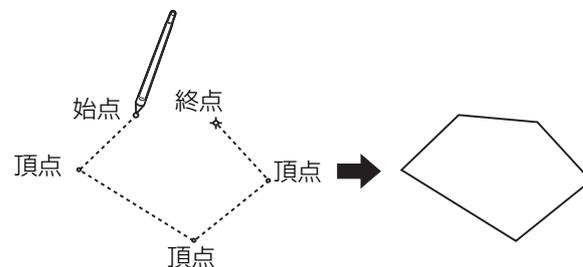
対角線上の 2 点 (始点と終点) を指定することによって、四角形のエリアを作成できます。



■ 多点入力

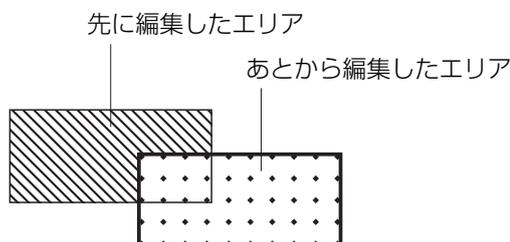
作成したいエリアを点で囲っていくことによって、多角形のエリアを作成できます。1 つのエリアには、頂点を 32 点まで指定できます。

終点を始点と結ばなくても、[OK] をタッチすると自動的につながります。



エリアの重なりについて

エリアは、重ねて指定できます。



- 重なった部分のエリア内には、あとから編集したエリアの設定が反映されます。
- 重なった部分の枠線には、両方の設定が反映されます。

エリアの作成

1 [□ (二点入力)] または [△ (多点入力)] をタッチする



2 作成するエリアの頂点をタッチする エリアが点線 (エリア枠) で囲まれます。



参考

- ▶ 細かい場所を指定するときは、[⊕ (拡大)] をタッチすると、画像が拡大表示されるので、エリアを指定しやすくなります。
- ▶ 1つ前の操作に戻りたいときは、[↶ (やり直し)] をタッチします。

3 [OK] をタッチする



エリアが確定され、編集画面に切り替わります。

続いて、エリアの編集を行います。

エリアの編集

1 編集したいエリアを選択する

上記「エリアの作成」の手順を行った直後は、作成したエリアが選択されています。

エリアが選択されているかどうかは、以下の点で見分けます。

選択されているとき	エリア枠が、点滅する点線で表示されています。
選択されていないとき	エリア枠が、修飾指示された線種 (実線や点線、破線など) で表示されています。点滅はしていません。

エリアが選択されていない場合は、エリア内をタッチすると、エリアを選択できます。

2 編集ツールで、エリアを編集する



編集ツールの使い方については、「第2章 いろいろな編集機能」(17) をご覧ください。

3 [OK] をタッチする

選択したエリアの編集が完了します。

- 他にも編集したいエリアがある場合は、「エリアの作成」と「エリアの編集」の手順を繰り返します。
- 1つのエリアに対して複数種類の編集を行いたい場合は、[OK] をタッチして編集を確定してから、再度同じエリア内をタッチして編集を追加します。

続いて、プリントイメージを確認します。

「3 プリントイメージを確認する」(14) に進んでください。

3 プリントイメージを確認する

プレビュー画面で、プリントイメージを確認できます。

参考

- ▶ プレビュー画面に表示される画像処理、枠線、網掛けのイメージは、画面上での視認性を優先して表現されます。実際の仕上がりと異なる場合があります。

1 [表示色切替] をタッチする



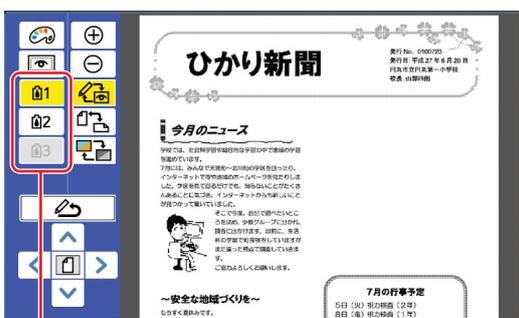
参考

- ▶ エリアが選択されている時は、[表示色切替] をタッチできません。[OK] をタッチして、エリアの選択を解除してください。

2 プリントイメージを確認する

プレビュー画面では、以下の操作ができます。

■ 版ごとのプリントイメージを確認する



版別プレビューボタン

版別プレビューボタンをタッチすると、版ごとのプリントイメージを確認できます。(使われていない版の版別プレビューボタンは、グレー表示されます。)

■ プリントイメージをカラーで確認する



[表示色切替]

[表示色切替] (表示色切替) をタッチすると、印刷色で色付けされた状態のプリントイメージを確認できます。

■ 版ごとの印刷色を変更する



[印刷色設定] (印刷色設定) をタッチすると、[印刷色設定] 画面が表示されます。



[変更] をタッチすると、各版に指定されている印刷色を変更できます。

2色以上でプリントする場合は、[追加] をタッチして印刷色を追加します。

参考

- ▶ [環境設定] の [印刷色基本設定] (印刷色基本設定) で、初期設定を変更できます。

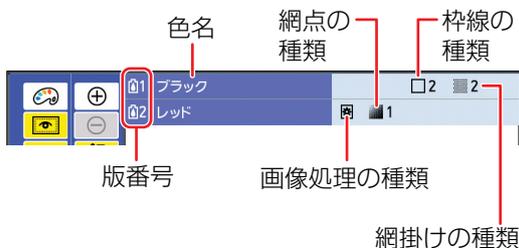
■ エリア枠を表示させる



[目] (エリア枠表示) をタッチすると、すべてのエリア枠が表示されます。
再度 [目] (エリア枠表示) をタッチすると、エリア枠が非表示になります。

■ エリアごとの編集内容を確認する

エリア内をタッチすると、そのエリアに指定されている編集内容が、画面上部に表示されます。



編集内容	アイコン	意味
画像処理	[目]	文字
	[写真]	写真 (標準)
	[顔写真]	写真 (顔写真)
網点	表示なし	OFF
	[1]	細かい
	[2]	やや細かい
	[3]	やや粗い
	[4]	粗い
枠線	[1]	細線
	[2]	太線
	[3]	極太線
	[4]	細かい破線
	[5]	粗い破線
	[6]	二重線
	[7]	底辺細線
	[8]	底辺二重線

編集内容	アイコン	意味
網掛け	[1]	網掛け 1
	[2]	網掛け 2
	[3]	網掛け 3
	[4]	網掛け 4
	[5]	網掛け 5
	[6]	網掛け 6
	[7]	網掛け 7
	[8]	網掛け 8

3 編集画面に戻る

[戻る] (ビュー切替) または [編集画面に戻る] (編集画面に戻る) をタッチすると、編集画面に戻ります。

1



編集が終わったら、プリントします。
編集した原稿データを [ホールド] または [USB メモリー] に保存することもできます。
[4 プリントする] ([16]) に進んでください。

4 プリントする

1 [Q+ (編集終了)] をタッチする



2 [保存しない] または [保存する] をタッチする

- 重要**
- ▶ [USB メモリー] に保存する場合は、USB メモリーを USB スロットに挿入してください。
 - ▶ [ホールド] に保存する場合は、本機にメモリーカードが装着されている必要があります。メモリーカードの装着方法については、印刷機の取扱説明書をご覧ください。



[保存する] をタッチした場合は、以下の項目を設定します。

■ [データ名]

原稿データの表示名を設定します。設定した [データ名] は、[ホールドデータ選択] 画面または [USB メモリー選択] 画面に表示されます。

■ [保存場所]

原稿データの保存場所を設定します。[ホールド] または [USB メモリー] の中に、フォルダーを指定して保存できます。

- 参考**
- ▶ [環境設定] の [認証設定] で [本体認証、認証プリント] が設定されている場合は、[認証する] [認証しない] を選択できます。
 - ▶ [認証設定] については、ご使用の印刷機の取扱説明書をご覧ください。

■ [オーナー]

「オーナー」とは、原稿データを保存した人を区別するための設定です。設定したオーナー名は、[ホールドデータ選択] 画面または [USB メモリー選択] 画面に表示されます。

3 [終了] または [プリント] をタッチする

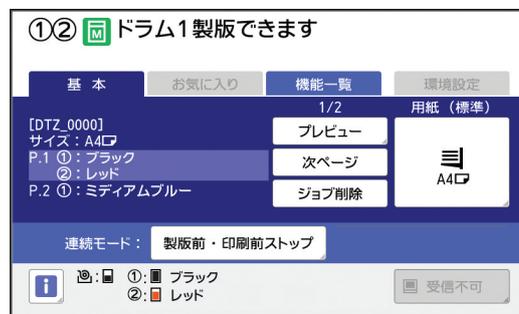
■ [終了] をタッチした場合

通常の製版基本画面に戻ります。

- 参考**
- ▶ [デジタイザ] を終了した後も、編集を再開できます。
(☞ 9 「1 原稿を選択する」)

■ [プリント] をタッチした場合

[デジタイザ] の製版基本画面が表示されます。



以下の手順でプリントします。

- ① 画面上で反転表示されている色（上図の場合「ブラック」と「レッド」）のドラムがセットされていることを確認する。
- ② [スタート] キーを押して製版する。
- ③ 印刷枚数を入力する。
- ④ [スタート] キーを押して印刷する。
- ⑤ 3色以上の色指定をした場合は、画面上で反転表示されている色のドラムに交換する。
- ⑥ 1色目と2色目が印刷された用紙を給紙台にセットする。
- ⑦ [スタート] キーを押して製版する。
- ⑧ [スタート] キーを押して印刷する。

- 参考**
- ▶ 製版基本画面の操作については、ご使用の印刷機の取扱説明書をご覧ください。



第 2 章

2

いろいろな編集機能

編集機能について

選択したエリアに対して、編集ツール (☞ 5) を使って様々な編集を加えることができます。
 エリアの作りかたについては、「**2** エリアを作成して編集する」(☞ 12) をご覧ください。
 各機能の詳細や設定手順については、下表の参照ページをご覧ください。

【画像色指定】 (☞ 18)

指定したエリア内の画像の印刷色を指定できます。指定色ごとに版分けされた原稿データになります。

【画像処理】 (☞ 19)

エリアを指定して、画像処理方法を「写真」に変更することができます。

【枠線】 (☞ 20)

指定したエリアに枠線を付けることができます。

【網掛け】 (☞ 21)

指定したエリア内に網掛けすることができます。

【色反転】 (☞ 22)

指定したエリア内の色を反転できます。

【消去】 (☞ 23)

指定したエリア内の内側または外側を消去できます。

【画像移動】 (☞ 24)

指定したエリアの画像を切り取って、移動できます。

【エリア取消】 (☞ 24)

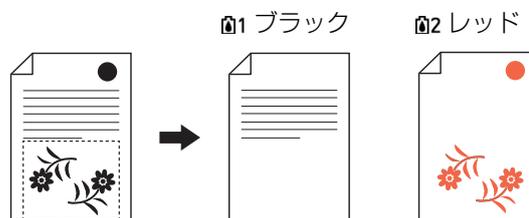
指定したエリアの設定を取り消すことができます。原稿は、エリアを作成する前の状態に戻ります。

【画像合成】 (☞ 25)

編集中原稿に、別の原稿データを合成できます。

エリア内の画像色を指定する

指定したエリア内の画像の印刷色を指定できます。指定色ごとに版分けされた原稿データになります。



参考 ▶ ここでの設定は、【画像処理】(☞ 19) 画面内での設定と連動します。

1 エリアを選択する

エリア内をタッチすると、エリアが選択状態になります。

2 (画像色指定) をタッチする



3 指定したい色をタッチする

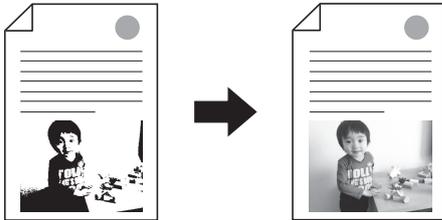


参考 ▶ 指定したい色が表示されていない場合は、プレビュー画面の  (印刷色設定) (☞ 14) で追加できます。

4 【確定】をタッチする

エリア内の画像処理方法を変更する

〔紙原稿を新規スキャン〕（ 10）で読み取った原稿データは、すべて〔文字〕で画像処理されています。エリアを指定して、画像処理方法を〔写真〕に変更することができます。



重要 ▶〔ホールド〕または〔USB メモリー〕から原稿データを読み出した場合は、〔画像処理〕を変更できません。

1 エリアを選択する

エリア内をタッチすると、エリアが選択状態になります。

2 （画像処理／枠線／網掛け）をタッチする



3 〔画像処理〕をタッチする



4 画像処理方法を選択する



■〔文字〕

写真を含まない原稿に適しています。

■〔写真〕

写真の鮮明さを重視したい場合に適しています。〔写真〕を選択した場合は、詳細な種類を選択します。

種類	説明
〔標準〕	下記の〔顔写真〕に該当しない場合に適しています。
〔顔写真〕	2人までのバストアップ写真に適しています。 (特に顔がきれいにプリントされるように画像処理します。)

5 〔網点〕の処理方法を選択する

■〔OFF〕

写真の階調が誤差拡散法で処理されます。不規則に配置される点の密度の変化によって、階調が表現されます。

■〔1〕～〔4〕

写真の階調が網点で処理されます。規則的に配置された点の大きさの変化によって、階調が表現されます。線数（1インチに網点は何個入るか）のパターンを選択できます。線数が高いほど点の配置が細くなるので、階調をなめらかに表現できます。

	MH935W/MH935/ MF935W/MF935	その他の機種
〔1〕	212 線相当	106 線相当
〔2〕	106 線相当	71 線相当
〔3〕	71 線相当	53 線相当
〔4〕	53 線相当	34 線相当

6 画像の印刷色を指定する

ここでの設定は、[画像色指定] (📖 18) での設定と連動します。

参考

- ▶ 指定したい色が表示されていない場合は、プレビュー画面の [🎨 (印刷色設定)] (📖 14) で追加できます。

7 [実行] をタッチする

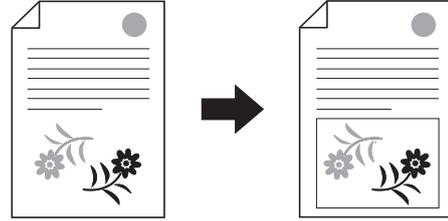
[写真の種類] を次のように設定したときは、原稿が再スキャンされます。

- [顔写真] にしたとき
- [標準] にして、[網点] を [1] ~ [4] のいずれかにしたとき

再スキャン後、編集画面 (📖 5) に戻ります。

エリアに枠線を付ける

指定したエリアに枠線を付けることができます。



重要

- ▶ [画像移動] (📖 24) とは併用できません。

1 エリアを選択する

エリア内をタッチすると、エリアが選択状態になります。

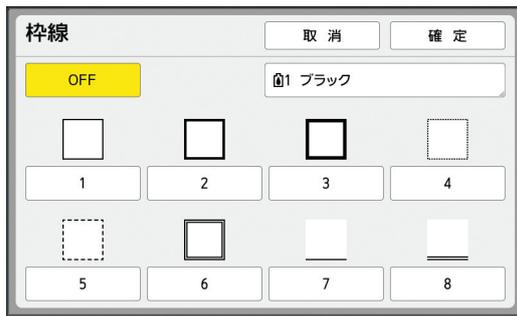
2 [📏 (画像処理 / 枠線 / 網掛け)] をタッチする



3 [枠線] をタッチする



4 枠線の種類を選択する



■ [OFF]

枠線を付けません。

■ [1] ~ [8]

「[枠線] と [網掛け] のサンプル」(図 32) を参考にして、枠線の種類を選択します。

5 枠線の印刷色を指定する

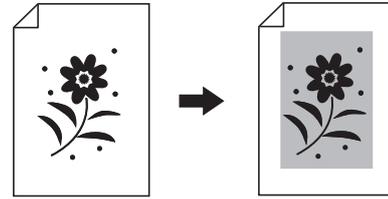
色名のボタンをタッチすると、枠線の印刷色を指定できます。

参考 ▶ 指定したい色が表示されていない場合は、プレビュー画面の [印刷色設定] (図 14) で追加できます。

6 [確定] をタッチする

エリア内に網掛けする

指定したエリア内に網掛けすることができます。



▶ [画像移動] (図 24) とは併用できません。

1 エリアを選択する

エリア内をタッチすると、エリアが選択状態になります。

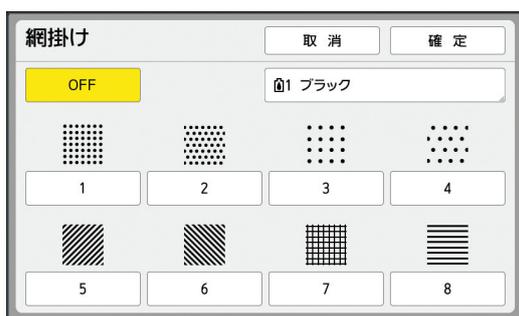
2 [画像処理 / 枠線 / 網掛け] をタッチする



3 [網掛け] をタッチする



4 網掛けの種類を選択する



■ [OFF]

網掛けしません。

■ [1] ~ [8]

「[枠線] と [網掛け] のサンプル」(図 32) を参考にして、網掛けの種類を選択します。

5 網掛けの印刷色を指定する

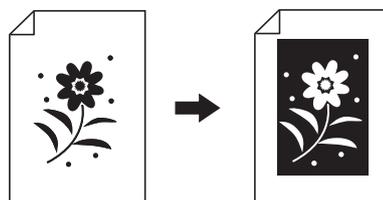
色名のボタンをタッチすると、網掛けの印刷色を指定できます。

参考 ▶ 指定したい色が表示されていない場合は、プレビュー画面の [印刷色設定] (図 14) で追加できます。

6 [確定] をタッチする

エリア内の色を反転する

指定したエリア内の色を反転できます。



1 エリアを選択する

エリア内をタッチすると、エリアが選択状態になります。

2 [色反転] (画像色反転) をタッチする



参考 ▶ 色反転を取り消したい場合は、[色反転] (画像色反転) を再度タッチします。

3 [OK] をタッチする

エリア内／外を消去する



1 エリアを選択する
 エリア内をタッチすると、エリアが選択状態になります。

2 [消去] をタッチする



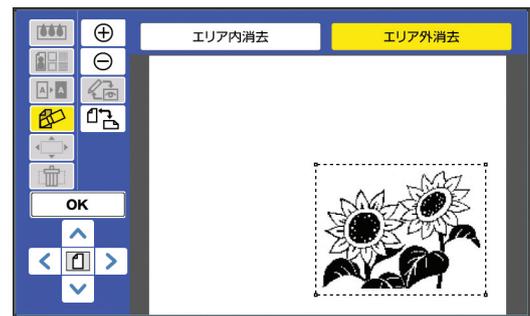
3 [エリア内消去] または [エリア外消去] をタッチする

■ [エリア内消去] をタッチした場合



エリアの内側が消去されます。

■ [エリア外消去] をタッチした場合



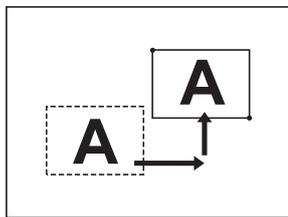
エリアの外側が消去されます。

参考 ▶ 消去を取り消したい場合は、[エリア内消去] または [エリア外消去] を再度タッチします。

4 [OK] をタッチする

エリアを移動する

指定したエリアの画像を切り取って、移動できます。



重要 ▶ [枠線] (☞ 20)、[網掛け] (☞ 21) とは併用できません。

1 エリアを選択する

エリア内をタッチすると、エリアが選択状態になります。

2 [⇄] (画像移動) をタッチする



3 [<] [^] [v] [>] をタッチする

操作パネルのキーでも操作できます。
どちらも押し続けると、連続的に移動させることができます。

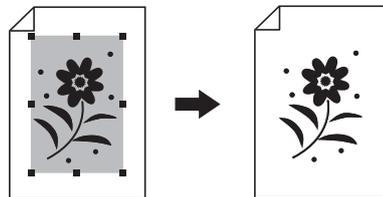
方向	<	^	v	>
キー	4	2	8	6

参考 ▶ 移動を取り消したい場合は、[⇄] (画像移動) を再度タッチします。

4 [OK] をタッチする

エリアを取り消す

指定したエリアの設定を取り消すことができます。
原稿は、エリアを作成する前の状態に戻ります。



1 エリアを選択する

エリア内をタッチすると、エリアが選択状態になります。

2 [🗑] (エリア取消) をタッチする

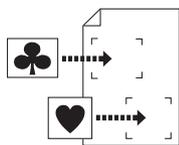


3 [OK] をタッチする

画像を合成する

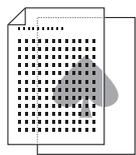
編集中の原稿に、別の原稿データを合成できます。合成する原稿データは、[ホールド] または [USB メモリー] から呼び出します。

合成の方法には、[シール合成] と [背景合成] があります。



[シール合成]

呼び出した原稿データから、一部分を切り取って合成します。



[背景合成]

呼び出した原稿データを、編集中の原稿の背面に合成します。

参考 ▶ 合成する原稿データを [ホールド] [USB メモリー] に保存する方法については、ご使用の印刷機の取扱説明書をご覧ください。

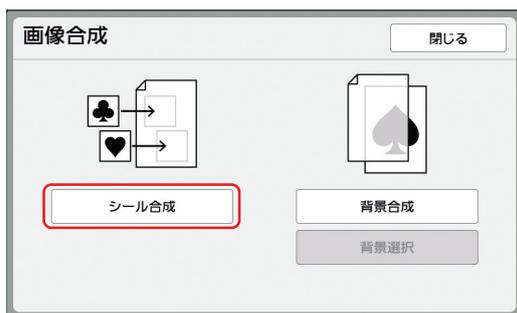
[シール合成]

呼び出した原稿データから一部分を切り取って、編集中の原稿に合成します。あたかもシールを貼るように、任意の場所に合成できます。

1 [シール合成] をタッチする



2 [シール合成] をタッチする



3 呼び出す原稿データの場所を選択する

■ [ホールド] から呼び出す場合

画面の左上に [ホールドデータ選択] と表示されていることを確認します。



■ [USB メモリー] から呼び出す場合

原稿データが保存されている USB メモリーを、USB スロットに挿入します。[ホールドデータ選択] 画面の右下の [USB メモリー] をタッチすると、[USB データ選択] 画面に切り替えることができます。

4 呼び出したい原稿データをタッチする



- 別のフォルダーに保存されている原稿データを選ぶ場合は、フォルダーのタブをタッチします。
- 原稿データが 6 件以上ある場合は、[↑] [↓] をタッチしてリストを切り替えます。

参考 ▶ [環境設定] の [認証設定] で [本体認証、認証プリント] が設定されている場合、認証データを表示させるには、以下の手順を行います。

- [ホールドデータ選択] または [USB データ選択] 画面で [表示設定] をタッチする。
- [認証あり] をタッチする
- [確定] をタッチする

5 [詳細表示] をタッチする

[ホールドデータ呼出] 画面が表示されます。

6 呼び出す原稿データを確認する

ページが複数ある場合、呼び出せるのは1ページ分だけです。[**^**] [**v**] をタッチして、呼び出すページを選択します。



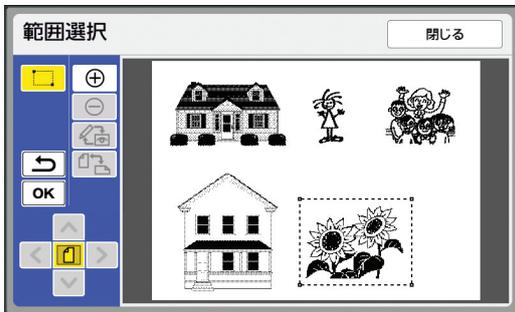
参考 ▶ 原稿データを選び直す場合は、[取消] をタッチすると一つ前の画面に戻ることができます。

7 [呼出] をタッチする

[範囲選択] 画面が表示されます。

8 合成する画像の範囲を指定する

始点と終点をタッチして、四角形のエリアを作成します。



9 [OK] をタッチする

10 合成する画像の処理を設定する



■ 色指定

色名のボタンをタッチすると、合成する画像の印刷色を指定できます。

参考 ▶ 指定したい色が表示されていない場合は、プレビュー画面の [(印刷色設定)] (14) で追加できます。

■ [背景]

[透過する] : 合成する画像の下になる部分も印刷されます。

[透過しない] : 合成する画像の下に元からあった原稿の部分は、隠れて印刷されません。

11 [確定] をタッチする

12 画像を合成する位置をタッチする



タッチした位置を中心として画像が合成されます。

13 合成した画像の位置を調整する

[<] [**^**] [**v**] [>] をタッチして調整します。操作パネルのキーでも操作できます。

どちらも押し続けると、連続的に移動させることができます。

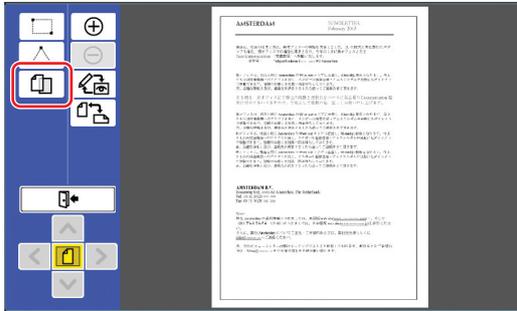
方向	<	^	v	>
キー	4	2	8	6

14 [OK] をタッチする

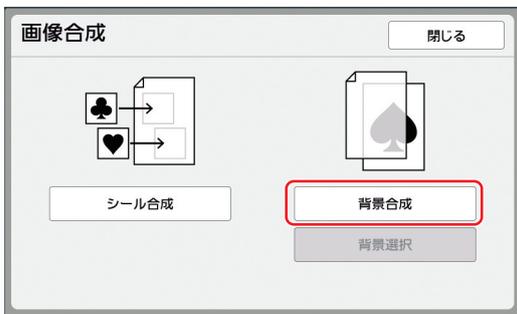
【背景合成】

呼び出した原稿データを、編集中原稿の背面に合成します。

1 【 (画像合成)] をタッチする



2 【背景合成】 をタッチする



3 呼び出す原稿データの場所を選択する

■ 【ホールド】 から呼び出す場合

画面の左上に【ホールドデータ選択】と表示されていることを確認します。



■ 【USBメモリー】 から呼び出す場合

原稿データが保存されている USB メモリーを、USB スロットに挿入します。【ホールドデータ選択】画面の右下の【USBメモリー】をタッチすると、【USBデータ選択】画面に切り替えることができます。

4 呼び出したい原稿データをタッチする



- 別のフォルダーに保存されている原稿データを選ぶ場合は、フォルダーのタブをタッチします。
- 原稿データが6件以上ある場合は、【】【】をタッチしてリストを切り替えます。

参考

▶ 【環境設定】の【認証設定】で【本体認証、認証プリント】が設定されている場合、認証データを表示させるには、以下の手順を行います。

- ① 【ホールドデータ選択】または【USBデータ選択】画面で【表示設定】をタッチする。
- ② 【認証あり】をタッチする
- ③ 【確定】をタッチする

5 【詳細表示】 をタッチする

【ホールドデータ呼出】画面が表示されます。

6 呼び出す原稿データを確認する

ページが複数ある場合、呼び出せるのは1ページ分だけです。【】【】をタッチして、呼び出すページを選択します。



参考

▶ 原稿データを選び直す場合は、【取消】をタッチすると一つ前の画面に戻ることができます。

7 【呼出】 をタッチする

【背景合成】画面が表示されます。

8 合成する画像の処理を設定する



色名のボタンをタッチすると、合成する画像の印刷色を指定できます。

参考 ▶ 指定したい色が表示されていない場合は、プレビュー画面の [印刷色設定] (図 14) で追加できます。

9 [確定] をタッチする

画像が合成されます。

10 合成した画像の位置を調整する



[<] [^] [v] [>] をタッチして調整します。操作パネルのキーでも操作できます。どちらも押し続けると、連続的に移動させることができます。

方向	<	^	v	>
キー	4	2	8	6

11 [OK] をタッチする

参考 ▶ 合成した画像の位置や色を変更したり、取り消したりするには、以下の手順を行います。

- ① [] (画像合成) をタッチする
- ② [背景選択] をタッチする



第 **3** 章

付録

利用環境を設定する

デジタイザの利用環境に関する設定を変更できます。設定のしかたについては、ご使用の印刷機の取扱説明書をご覧ください。

設定項目

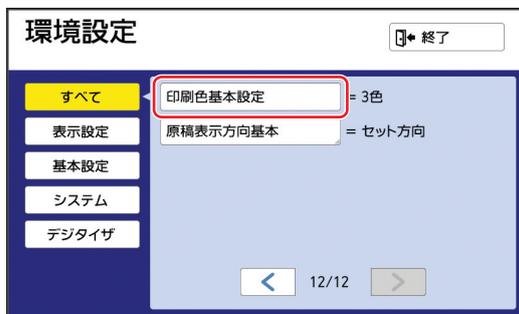
下線部は、工場出荷時の設定です。

設定項目	設定内容
【印刷色基本設定】 【印刷色設定】 (14) の初期設定を変更できます。	下記の「【印刷色基本設定】の変更手順」をご覧ください。
【原稿表示方向基本】 [〇] (原稿表示方向切替) (5) の初期設定を変更できません。	セット方向、90度回転

【印刷色基本設定】の変更手順

【印刷色設定】 (14) の初期設定を変更できます。

1 【環境設定】画面で【印刷色基本設定】をタッチする



2 【変更】または【追加】をタッチする



- 各版に指定されている印刷色を変更するには、【変更】をタッチします。
- 印刷色を追加するには、【追加】をタッチします。

参考

▶ 印刷色を削除するには、【削除】をタッチします。(【①】 【②】は削除できません。)

3 使用する色をタッチする



印刷機にセットしたことがあるドラムの色が、選択肢として表示されます。

【オート】を選択しておくこと、使用時に印刷機にセットされているドラムの色が適用されます。

4 【確定】をタッチする

【印刷色基本設定】画面に戻ります。

5 【閉じる】をタッチする

【環境設定】画面に戻ります。

ショートカットキー一覧

以下の機能は、画面上のボタンをタッチする代わりに、操作パネル上のキーでも操作できます。

キー	割り当てられている機能
[1]	[ (ビュー切替)]
[2]	[^ (上に移動)]
[3]	[ (原稿表示方向切替)]
[4]	[< (左に移動)]
[5]	—
[6]	[> (右に移動)]
[7]	—
[8]	[v (下に移動)]
[9]	—
[0]	[OK]
[*]	ツールボタンの名称を表示できます。(キー操作だけの機能です。)
[C]	[ (やり直し)]
[P]	[ (全体表示)] [全体表示] ON のときは、[P] キーのランプが点灯します。
[x]	[⊕ (拡大表示)]
[+]	[⊖ (縮小表示)]
[HOME]	[ (編集終了)]

【枠線】と【網掛け】のサンプル

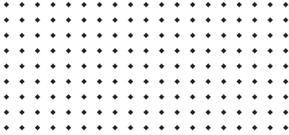
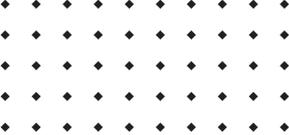
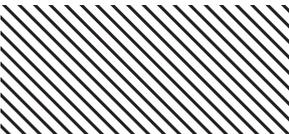
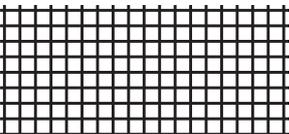
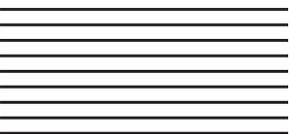
【デジタルイザ】を使うと、指定したエリアに枠線を付けたり、網掛けしたりすることができます。本ページに、各パターンの実物大のサンプルを示します。設定のしかたについては、以下のページをご覧ください。

- 【枠線】 ([20](#))
- 【網掛け】 ([21](#))

【枠線】

枠線 1 (細線)	枠線 2 (太線)	枠線 3 (極太線)	枠線 4 (細かい破線)
			
枠線 5 (粗い破線)	枠線 6 (二重線)	枠線 7 (底辺細線)	枠線 8 (底辺二重線)
			

【網掛け】

網掛け 1	網掛け 2	網掛け 3	網掛け 4
			
網掛け 5	網掛け 6	網掛け 7	網掛け 8
			



お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては

お客様相談室 ☎0120-534-881

受付時間(月～金 10:00～12:00,13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)

当社製プリンタドライバ/ソフトウェアの操作に関しては

サポートセンター ☎0120-229-330

受付時間(月～金 9:00～17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)

理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7田町センタービル 電話(03)5441-6666

ホームページ <http://www.riso.co.jp/>